

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	骨髄移植普及促進事業				シート番号	011-261
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	保健所 保健医療	課 評価責任者(課長名)
						藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	骨髄移植を必要とする白血病等の患者を1人でも多く救うため、市内イベント等での献血併行型のドナー(骨髄提供者)登録会の開催等の啓発事業を実施してきたが、骨髄移植をより一層推進するため、平成29年11月に関西骨髄バンク推進協会と協定を締結し、ドナー登録の増加をはじめ、若年層をターゲットにした啓発イベントの実施やドナーが骨髄等を提供しやすい環境整備に取り組んできた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input checked="" type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	18歳以上54歳以下の骨髄ドナー登録が可能な方をはじめとする市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	広く市民に対し、骨髄移植への理解を深め、ドナー登録協力への意識を醸成する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	骨髄移植は、白血病等の血液疾患に対する有効な治療法の一つであるが、骨髄移植には患者さんとドナーのHLA型(白血球の型)の適合が必要であり、適合率は、兄弟姉妹間では4分の1、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者(他人)間では数百～数万分の1の確率で、かつ、適合した場合であっても、ドナーの方々の様々な事情等により、実際に移植を受けることができる方は約6割に留まっている。 こうした状況をふまえ、協定先であるNPO法人関西骨髄バンク推進協会をはじめ、大阪府や日赤、市民、学生等との協働・連携を強化しながら下記事業に取り組む。 ① 骨髄移植の理解促進 ・普及啓発講演会、映画上映会等の実施 ② ドナー登録者増加のための取組み ・献血併行型ドナー登録会の効果的実施 ③ ドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(協定先との協力) 有限会社南海ステージ					

Ⅲ. 投入量

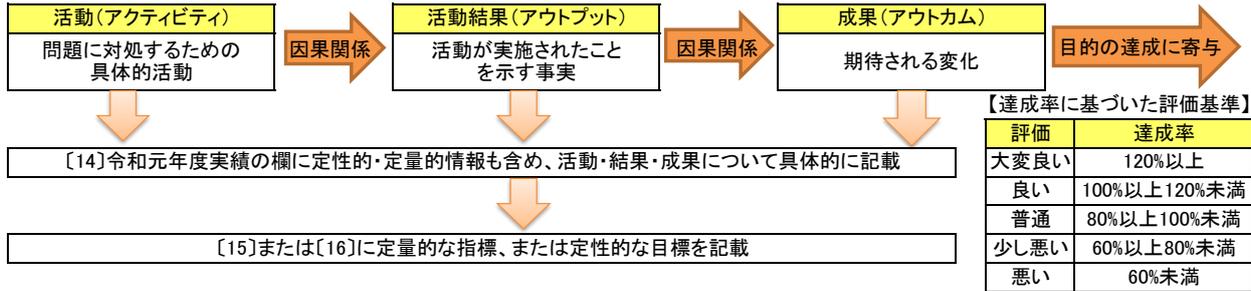
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	800	486	1,200	497	1,066	637	2,806	
	主な事業費内訳	普及啓発に係る講演会、映画上映会の開催	千円	300	370	750	326	916	623	580
		献血併行型ドナー登録会等の啓発促進	千円	500	116	450	171	150	14	226
		骨髄ドナー支援事業	千円							1,000
	基金積立	千円							1,000	
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(指定寄付金・基金繰入金)	千円							2,000
		一般財源	千円	800	486	1,200	497	1,066	637	806
	12	人件費(b)	千円	2,460	2,460	1,230	1,230	1,215	1,620	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,260	2,946	2,430	1,727	2,281	2,257	3,626	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	骨髓移植普及促進事業	シート番号	011-261
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	① 骨髓移植の理解促進 ・大阪府立大学において普及啓発講演会、映画上映会の実施 ・大阪府立大学学生との献血・骨髓バンク勉強会の実施 ・SAKAI MEETING2019における啓発活動 ② ドナー登録者増加のための取組み ・市役所や区役所をはじめ、ショッピングモール、看護学校、大学等において献血併行型ドナー登録会の実施 ③ ドナーが骨髓等を提供しやすい環境の整備 ・協定先であるNPO法人関西骨髓バンク推進協会が取り組んできたクラウドファンディングを活用したドナー支援事業について支援を行った。ドナーへの支援を持続的なものとするため、次年度よりふるさと納税を活用して実施できるよう調整を行った。						
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	献血併行型ドナー登録会の開催回数	回	目標値	10	10	22	22
				実績値	11	34	41	
				達成率	110%	340%	186%	
				評価	良い	大変良い	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、令和元年度と同様の目標値を設定					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	献血併行型ドナー登録会での新規登録者数	人	目標値	100	100	240	240
				実績値	118	363	530	
				達成率	118%	363%	221%	
				評価	良い	大変良い	大変良い	
	算出方法・設定根拠など		新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、令和元年度と同様の目標値を設定					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	献血併行型ドナー登録会の開催回数	回	11	34	41
	②	上記①にかかる年間経費	千円	536	581	554
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	48,727	17,088	13,512
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	献血併行型ドナー登録会での新規登録者数	人	118	363	530
	②	上記①にかかる年間経費	千円	536	581	554
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,542	1,601	1,045
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	大阪府立大学において学生との協働による骨髓移植普及イベントや勉強会、SAKAI MEETING 2019において、本事業の主要な対象者である若年層に向けて、効果的な啓発を実施することができた。 また、日赤や関西骨髓バンク推進協会との協働による骨髓バンクドナー登録会について、市役所・区役所をはじめショッピングモールや看護学校など効果的な場所において実施し、目標を2倍以上上回る登録者数となった。 ドナーが骨髓を提供しやすい環境整備については、関西骨髓バンク推進協会が実施するドナー支援事業に対する支援を行ったが、同協会の本取組みは継続が困難になったことから、持続可能な取組とするためふるさと納税制度を活用した手法による実施に向けて調整を行った。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	骨髄移植普及促進事業	シート番号	011-261
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 救うことができたはずの命が救うことができなくなる可能性がある。また、市民やNPO法人、日赤等と進めてきた協働関係が崩壊してしまう。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 救うことができたはずの命が救うことができなくなる可能性がある。また、市民やNPO法人、日赤等と進めてきた協働関係が崩壊してしまう。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 大学等で実施しているイベントについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点で休止や縮小を行う。印刷物によるイベントの周知につき、ホームページ等を中心とする周知に変更することによる縮減。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 啓発イベント等を実施する場合、定員や時間帯の縮小、検温の実施、3密回避、フェイスシールド等の着用等を検討する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 大学等で実施しているイベントについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点で休止や縮小を行うとともに、印刷物を縮減する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 骨髄移植の理解促進について、感染防止に留意しながら実施していく。		